

子どものつづやき

令和4年度(2022年度)

21世紀をになう子ども達に

次代をになう子ども達が、生き生きと、健やかに育ち、力を合わせて明るい未来をつくりあげてくれることを誰もが望んでいます。しかし、世界はもちろん、日本においても様々な差別に苦しみながら生活をしている子ども達があります。

「子どもの権利条約」にみられるように、子どもが一人の人間として尊ばれ、よりよい環境の中で成長・発達できるようにしていくことが重要な課題となっています。

豊中市では、平成25年(2013年)4月に「豊中市子ども健やか育み条例」を制定し、子ども一人一人が健やかに育ち、そして、子どもや子育て家庭に関わる全ての人がつながり、社会全体で子どもを愛情深く育む地域社会の実現をめざしています。

就学前施設では「豊中市人権保育基本方針」にもとづき、一人一人の子どもの人権を大切にするを基本に、すべての子どもに豊かな感性を育てお互いを大切にする心を培い、人権尊重の基礎的な資質を養うことをめざした人権教育・保育をすすめています。

「子どものつづやき」は、人権教育・保育の中で大切にしてきた取り組みの一つです。

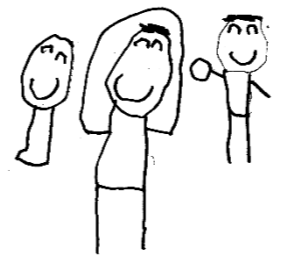


ありがとうっていわないと 4歳児

絵本「いのちをいただく」を読んだ数日後、給食を食べていた時のこと。

あかね きょうは ぶたにく？
保育者 そうだよ 肉じゃがに豚さんのお肉が入っているね
あかね あ！ じゃあ きょうは とりにくだったから とりのおにくがはいっていたってこと？
保育者 うん そうだったね
あかね じゃあ きょうはぶたさん きょうはとりさんに ありがとうっていわないと
そうた ありがとうっておもって “いただきます” っていうんやで

絵本の内容と自分達が実際に食べているお肉を結び付けて話していました。



だいじょうぶ?? 2歳児

泣いて登園してきた友達を心配している時。

は な ママとバイバイするの いやだ
しんた (よしよししながら) どうしたの？
は な さみしい
しんた そっかあ…
(はなの好きな玩具を取りに行く)
これ あげる
は な いらない
しんた ちがうか…
ママー がんばってね
(仕事へ行ったはなのお母さんに呼びかける)
は な ありがとう
ママー はやく (迎えに) きてね

その後 二人で顔を見合わせ笑顔になり 遊び始める
友達のことを気にかける姿も増えてきて泣いていると頭をよしよしして心配したり、玩具の取り合いでトラブルになっていると 仲介に入って解決しようとしたりと 友達想いの姿が多く見られるようになりました。

自分が好きやったらええやんか 4歳児

な み なんて たーくん おとこやのに みつあみ してんのかなー
み か おとこのこでも べつに いいねんで じぶんが好きやったら べつに いいやん

ママ くるよ 1歳児

いつもよりお迎えが遅く、泣いていた ゆみの様子を見ているたろう。

ゆみ ママ… パパ…
保育者 もうすぐ来てくれると思うよ～
ゆみ ママ～ (泣き出す)
近くで様子を見ていたたろうが ゆみの隣に来て たろう ママ くるよ (ゆみの肩を触る)



たろうちゃんは自分の両親のことを“おかあたん”“おとうたん”と呼んでいます。ゆみちゃんの呼び方に合わせて「ママくるよ」と言いました。友達に寄り添うたろうちゃんの姿に、友達を思う気持ちが育ち始めています。

たかしちゃんいっしょにいこう 5歳児

自由に遊ぶ時間の時に、たかしが泣きそうな顔で座っているのに気付いたそうたが、たかしに声をかけている。

そうた たかしちゃん どうしたん？
たかし あのさー しんちゃんもってるブロック ぼくがつかいたかった
そうた かしてって いったの？
たかし 言ってない (少しだまり)
かしてっていても かしてもらえないとおもう
そうた そんなの いってみないと わからんやろ かしてくれるかもしれないから いっしょに いいにいこう
たかし (うなずく)

たかしちゃんの悲しそうな表情に気が付き、気持ちを聞いて、寄り添って行動したそうたちゃんでした。

色を重ねたら・・・ 4歳児

折り紙で作ったカタツムリに、クレパスで色を塗ったり、模様を描いたりしていた時のこと

しのぶ みて! きいろのうえにあおぬったら
みどりみたいになった!
こっちは しろのうえにあかぬってん!

と嬉しそうに色を塗ったところをみせていた

クレパスの違う色を重ねて塗ったら、別の色ができることを発見し、いろいろ試していたしのぶちゃんでした。

どうそのねこじゃらし 2歳児

散歩中ねこじゃらしを見つけ 保育者がねこじゃらしが欲しい人を聞いて配り終えた後。

保育者 みんな ねこじゃらし もった?
ともひろ (周りを見回してから)
あやちゃん ないね
とってー

保育者がともひろにねこじゃらしを渡す

ともひろ (あやに) どうぞー
あ や (にっこり笑いながら) んっ!

友達が持っていないことに気づき、渡してあげようとする優しい思いが見られました。ねこじゃらしを受け取った後、二人で見つめ合い にっこりしている姿が表情で感謝を伝えているようでした。

おはな きれいだね 1歳児

園庭をバギーで散歩していた時のこと。

まり おはな!
保育者 ちかくまでみにいこうか
まり (お花をさわりながら)
きれーい かーいね!
保育者 きれいだね かわいいね
ゆらゆらゆれてるね
まり ゆらゆら (からだを揺らしてまねをする)



お花を見ながら保育者との会話に、にこにこ笑顔になりました。身近な自然に触れる中で、豊かな感性が育まれていきます。

いっぱいだっこしてもらおうねん 5歳児

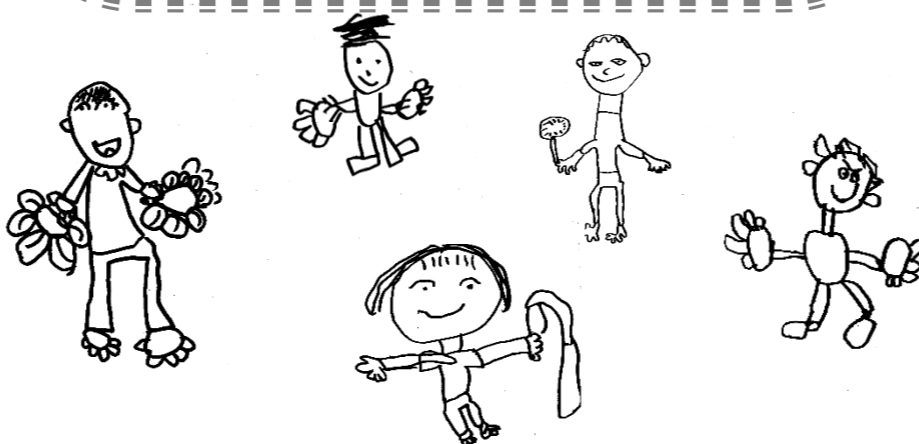
朝、登園し、保育者のひざの上に乗って

る み あんなあ ママにだっこしてもらいたいねん
けど ずっと あかちゃんだっこしてるから
してもらわれへんねん

保育者 そっかあ 赤ちゃんが寝たときに
だっこして〜って言うってみる?
先生も るみちゃんだっこしよ〜!

る み あかちゃんがおおきくなったら
いっぱい だっこしてもらおうねん

家で3人姉弟のお姉ちゃんのみちちゃん。
お母さんの姿を見て、甘えたいけれど、我慢している気持ちを教えてくれました。



はるちゃんは いやや 4歳児

クラスで育てていた青虫がチョウになり、みんなでどうするか相談して、逃がしてあげようとなった時。

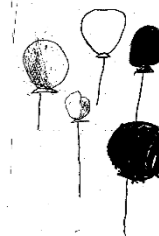
はる はるちゃん いやや
保育者 どうして?
はる …… (だまりこんで 泣きだす)
ひろ はる おせわ がんばってたからや!!
はる (コクンと うなづく)

自分で一生懸命世話をしていた青虫に、愛着を感じていたはるちゃん。どうして泣いているのかな?とみんなで考えている時に、はるちゃんは自分の気持ちに気づいて代弁してくれた友達に心がほぐれたようです。

みんな いっしょで みんな ちがう 3歳児

室内遊びをしている時に、自分の服の模様と保育者の模様が同じ縞模様だと気付いた。

こ う しましま いっしょだね!
保育者 ほんとうだね いっしょだ
こ う でも いろがちがうね
保育者 そうだね すこしちがう いろだね
こ う みんな いっしょで みんなちがうんだよ!
ちがうことも いっぱいあるんだよ!



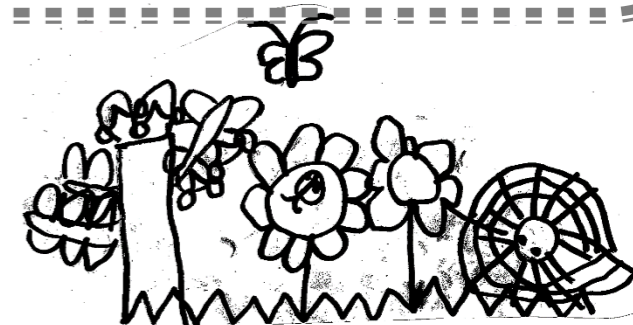
「みんなおなじでもみんなちがう」の絵本を家庭で読んだこうちゃん。同じでも違う。なんだか難しく感じますが、こうちゃんはとても納得したようで、同じで違うものを探していました。

ありがとう 5歳児

厨房の先生とお味噌汁を作るクッキングをし、自分達が作ったお味噌汁を飲みながら・・・

このみ クッキングですっとたっていたし
がんばってたからつかれた
かずま あし いたいなあ・・・
保育者 厨房の先生は 毎日ひよこぐみ(0歳児)から
きりんぐみ(5歳児)までの給食を作ってく
れているんだよ
さくら ちゅうぼうのせんせい すごいなあ
り く いっぱいたべたら よろこんでくれるかなあ?
おかわりしよう!

自分達が実際に経験することで、大変さや、しんどさ、ありがたさを感じ、どうしたら喜んでくれるのか 考える子ども達の姿がありました。自分達で作ったということもあり、完食していました。



っち～！（こっちがいい）

0歳児

離乳食の際、保育者が食べさせようとする・・・

みつき いらん～！ち～！（こっち～）
と食べたいものを指さす

保育者 こっちがいいの？

みつき にこっと笑い 保育者がスプーンの上に
ごはんをのせると自分で食べる

保育者 おいしいね！これもたべてみる？

みつき ない～

自分の食べたいもの・したいこと等、要求をしっかりと出せるようになってきたひよこぐみの子ども達。

まだ幼いからと大人が全て決めるのではなく、子ども達が選べる機会をつくり、自分で決める経験をつみ重ねながら、“自分は大事にされている”という気持ちを育てています。

おねえちゃんじゃない!! まさみちゃん! 3歳児

まさみの弟が泣いていて、母親が弟を抱いた時

まさみの弟 (泣いて母に抱っこを求める)

まさみ (弟が抱かれたのを見て抱っこを求める)

母 おねえちゃんだから待っててね
がまんしてね

まさみ おねえちゃんじゃない!!まさみちゃん!

保育者 あそうやね～

まさみ まさみちゃんはまさみちゃんやね～

まさみ (納得して保育者に抱かれる)

大好きになったカブトムシ 1歳児

クラスで飼っているカブトムシの飼育ケースをみんなでのぞき込んでいた時。

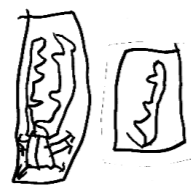
ゆきひろ ゼリーたべてるね

あすか あっ たべてる

あやみ ゼリーいっぱいたべてね

みのる もぐもぐ

(食べるまねっこをする)



くもは なんじにねるの? 2歳児

太陽が雲に隠れて部屋の中が暗くなり、それに気付いた子ども達が窓の外を見ている。

みゆ おへや くらくなったね

まさき たいようさんが くもにかくれたんちゃう?

りく たいようさん かくれて
ねんね してるんかなあ?

みゆ くもは ねんねすんの?
なんじに ねてるんやろう

天気の変化に気づき、どうして暗くなったのか子ども達同士で考えながら話しています。最近時計に興味を持ちはじめ「何時?」という言葉が話の内容によく出てきます。

苦手なことあってもいいやん 5歳児

こま回しをしているあすかとたいせいが「先生もやってみて」とこまを持ってくる。

保育者 こま回すよ (うまく回る)

あすか せんせい すごい! めっちゃうまい!
せんせいってなんでもできるなあ

保育者 ありがとう でも先生にも苦手なことあるんだ
けどしてる?

あすか あっ ピアノをひくこと!

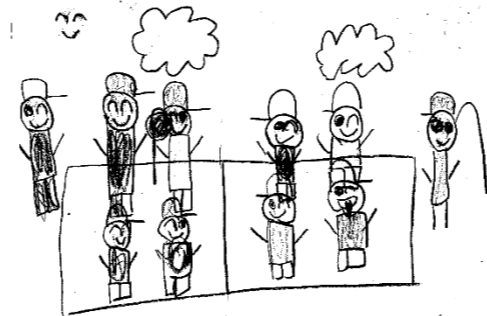
保育者 そうそう 先生ピアノ弾くの苦手なんだよね
よく間違えるし

たいせい (話をそばで聞いていた)

せんせい ピアノひけなくてもいいやん

だって みみからティッシュだすのとくいやん

今まではできるできないにこだわり、苦手なことがあると表情が曇っていたたいせいちゃん。それが“苦手なことあってもいいんだよ”“だいじょうぶだよ”という気持ちが持てるようになったことが感じられた場面でした。



大人もけんかしたらあかんよね 5歳児

ニュースで戦争をしている国のことについて、感じたことをつぶやいていた。

しんや ねえ、どうしておとなはいいの?

保育者 え? どういうこと?

しんや パパとママは
こどもたちはなかよくしなさい っていうのに
おとなはたたかいしてるやん
テレビでやってたよ!

保育者 おとなもけんかしたらあかんよね!!

これがいーの! 2歳児

お昼寝前、パジャマに着替える時、保護者の用意していたものをきよみに渡すと・・・

保育者 きよみちゃんこれどーぞ!

きよみ いや!これ!
(お気に入りのねこのTシャツを持つ)

保育者 ママが用意してくれたよー?

きよみ これがいーの!

自分の思いをしっかりと出し、お気に入りの服を着て満足そうでした。



あ～びっくりした～ 0歳児

保育者が、絵の具を入れ、水が色水に変わった時。

あゆか みつき (タライのみずのなかに手をいれてあそぶ)

保育者 ま～ぜませ (絵の具をいれる)

あゆか みつき (慌てて遊んでいた手を引っ込める)

保育者 ま～ぜませ
(手を入れて かき混ぜて見せる)

あゆか (保育者のまねをして 手を入れて遊ぶ)

みつき (不思議そうに色水を見ている)

水の色が変化したことに、驚いていた子ども達です。

わたしのあかちゃん 2歳児

人形を赤ちゃんに見立てて遊んでいた時、互いの赤ちゃんを見せ合い

ふみ このこ 1がつうまれて 3かげつなの
かれん このこは 5かげつ!
ふみ かわいいでしょ

ママ達のすることをよく見ていて、人形をお風呂に入れたり着替えさせたりしています。

おもいから むりや 3歳児

保育者が子ども達を一人ずつ順番に抱っこしていた時。

保育者 まことちゃん

まこと (表情が曇る)

保育者 どうしたの?

まこと まことは おもいから むり

保育者 まことちゃんは背が高いし 体が大きいけど先生は力持ちだから 大丈夫!

まこと (少し恥ずかしそうに笑いながら抱かれる)



クラスの中で体格の大きいまことちゃん。自分の体重を気にして諦めている様子。
周りの大人から言われたことがあるのでしょうか。

おっ! 0歳児

保育室で育てていた幼虫がさなぎになり、ちょうちよになる様子を見ていた時。

まこ (じーっと飼育ケースを見つめる)
ちょうちよになる姿を見つけた まこ

まこ (指さしをして)
おっ!
おっ! おっ!

あおむしから育てて、動いている姿や、さなぎになる姿をいつも見ていたまこちゃんは、指差ししてちょうちよの存在をアピールしていました。

わたしすごいでしょ? 4歳児

自分で動いたり、声をだしたりすることが難しいりん。
右手は動かしやすいため、バギーに乗った状態でも、右手の上にボールを置かれると、くいと動かして、バギーからボールを落として遊んでいる。

保育者 りんちゃん ボールを手の上に置くから手を動かしてバギーからボールを落としてみて!
(りんの手の上にボールを置く)

りん (くいと手を動かしてボールを落とす)

保育者 すごいね! ボールが落ちたよ! もう1回する?

りん (保育者が声をかけるのをじっと聞いている。
まだボールが置かれていない状態にもかかわらず右手を何回もくいつくいと動かしている。)

わたしすごいでしょ? せんせい、はやくボールおいて! と言っているような表情でした。

体を動かしたり言葉を発することが難しくても、毎日やりとりする中で、りんちゃんの得意な遊びが見つかり、その遊びに自信をもって取り組める姿が確認できた一場面でした。

“平和”ってなに? 5歳児

やなせたかしさんの生涯について書かれた「勇気の花がひらくとき」の本の読み聞かせ後“平和”ってなんだろう?とみんなで考えた。

あい ごはんが いっぱいたべられること
いっぱいたべられること

ゆう おともだちと なかよくあそぶこと

ゆうき ともだちとずーっといっしょにあそぶこと

かおり みんながてをつなぐこと

かなこ ちきゅうがわらうこと

りく かそくが えがおでいるとき

はるみ ともだちがいること

「命」を大切にすることができ、どんな時でも食べられること、幸せ、思い思われる家族・仲間がいることの安心、“平和”の大切さを感ずることができました。



「つぶやき」ってなあに?

子ども達は、日ごろから友達や大人と関わって遊び、生活する中で“うれしいこと”“悲しいこと”“驚いたこと”“腹が立つこと”“求めたり望んだりしていること”など様々なことを感じ、表現しています。

このような子ども達の「思い」を表現したものを言葉だけでなく、しぐさ・動き・表情などを含めて、

「つぶやき」としてとらえています。

「つぶやき」をとおして

公立こども園・民間保育所(園)・児童発達支援センターなどの就学前施設では「つぶやき」とおして、子どもの生活や友達への「思い」をしっかり受け止め共感し、周りの友達に伝え広げていくことを大切にしてきました。

このことは仲間とともに生きる子どもを育み、さらには、一人一人の子どもの人権を守ることに繋がっていくと考えています。

子どもの姿や思いを私達大人がしっかりととらえ、教育・保育を見直しながら、子ども達の人権についてこれからも考えていきたいと思います。

ここに紹介している「つぶやき」は、

令和4年度(2022年度)子どものつぶやき展

で展示している「つぶやき」です。